

〔藩翰譜木下上〕肥後守豊臣家定は、尾張國の住人杉原平入道道松助門が男、豊臣太閤家北政所の御兄なり、年若き時より豊臣家へ仕へ、家號を賜て木下とは名乗りけり。

〔藩翰譜宗上〕十八年正月の春、義智仰を承り、家人柳川下野守調信等を引具し、自ら彼國に渡て、免かく捨へし程に、信使來聘すべきに極て、同七月、彼使具して都に上り、殿下秀吉○豊臣に参る、關白の御感淺からず、頓て侍従になされ、羽柴の號を賜る、

〔寛永諸家系圖傳二百十六〕堀

直政○中

織田信長につこふ、堀左衛門督秀政が從弟たるをもつて、秀政につけらる○中秀吉越前國北庄の城をもつて、秀政が勳功に報じたまふ、秀政もまた直政が忠節をかんじ、本姓源氏をあらため、藤原堀氏をさづく、

〔寛永諸家系圖傳乙〕今川品川

高久○中

今川氏は、一人の外、稱號をゆるされざるにより、台德院○忠川殿鈞命にて、品川と稱す、
〔柳營秘鑑〕御一字頂戴之家々

一御稱號○松平計被下置

從先規御稱號御一字不被下家々

佐竹右京大夫

藤堂大學頭

宗對馬守

一御稱號被下之家々は、御一字被下置之節、其時々改被下之也、又は不及其義家も有之、

島津

鍋嶋

蜂須賀

黒田

なご御稱號御免無之内は、自氏を用る事有之、